

平成 20 年 4 月

お 得 意 様 各 位

日本ねじ商業協同組合連合会

会 長 片 倉 新 治



「お取引価格改正のお願い」

拝啓 新緑の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私共日本ねじ商業協同組合連合会は東京、神奈川、愛知、大阪の 4 協同組合の上部団体で 30 年余の歴史があります。傘下組合員数は 370 社、推定年商 4870 億円（平成 19 年経営実態調査）を売上げるねじ流通の中核団体です。

さて、ご承知のように鋼材価格は平成 16 年頃より本格的に値上がりし、今年 4 月から 20%～25%位の値上げとなりました。ここ数年の断続的な値上げは、BRICs を中心とした大幅な需要増を要因として鉄鉱石、石炭等の原材料の供給不足が原因といわれております。素材価格の値上がりは鋼材のみならず原油などの高騰により、広範囲な素材に及び素材インフレと云われております。ねじ業界でも副資材、メッキ、物流費などが大幅に値上がりし収益を圧迫しております。

私共ねじ産業は、「基本的な機械の要素部品」良いねじの供給により「安心・安全」で社会に大きく貢献しております。又、サポートインダストリーとして、ねじメーカー、卸売、直需販売の連携によってお得意様各位に品質向上、生産性向上に貢献する供給責任を果たしております。

ここ数年、素材インフレと顧客からのコストダウン圧力との挟み撃ちにあって、私共ねじ産業は、経営的に厳しい状況におかれております。今まで企業努力によって生き伸びてまいりましたが、更なる鋼材等の大幅な値上げは、一企業の努力では吸収できない状況にあります。何卒お得意様各位におかれましては、ねじ産業の苦しい現状をご理解いただき、皆様に満足していただける「供給責任」を果たせまよう、是非ともお取引価格の改正をお願い申し上げます。

敬具